



こども会議 ～りんごの木プロジェクト～

11/8, 11/29, 12/8 に実施

木までに、3回の会議で話し合いをした子ども達。
参加した子ども達の声を聞いてみました。

自分のいけんのをば、
ひょうしたからみんなが
さんせいしてくれ
てうれしかったで
す。

みんなの意見がきける
楽しかった。みんながどう
思っているか知ることができた。

自分が遊びたかった物が
できるように、よかった。

自分が思ったことができて
うれしかった。

こども会議で
色々な係になれて
楽しかった。

書記が一番
たのしかった。

こども会議で
決まったことが実現して
児童館が楽しいと思っ
たかふえたと思う。

◎子ども達の意見もきく
◎子どもの視点に立つ
(児童館の想い)

たこのしかたにび

子ども達の冬のあそびの様子 (たにあげ)

グランドで思いっきり走っています。

たにあげ

おすすめ 児童図書

「しまふくろうとふゆのつき」

手島 圭三郎

冬の夜、静かな雪の山を
月が照らしています。
川も凍ってしまい、しまふ
くろうは、かすかな音と月
の明かりをたよりにえもの
を探します

連載コーナー 森岡先生と一緒に考えよう！

テーマ 君たちの人生を決める「生活習慣」について

～将来の「成功」のための生活習慣について考える～

第5回 「インサイド・アウト」

人は、考え行動する時「インサイド・アウト」という考え方が重要になります。例えばチームで行動し失敗した時、他人のせいにしていませんか？(スポーツの試合で仲間が失敗したら仲間のせいで負けたと言っている。等)

過去と他人は自分では変えられません。他人が変わるのをじっと待つ(これを他力と言います)そういう考え方を持ち続ける限り、あなたが望む結果(成功)は得られないことになります。

結果を得るためには、自力で変え、自分も周りも成長していくことが大切になってきます。

この考え方が「インサイド・アウト(内から外に)」です。自分が変わることによって周囲に影響を与えて問題を解決し望む結果を得て、成功に導くことができるのです。

メジャー大谷翔平選手は、1シーズンで9勝して、あと1勝で2桁勝利と言う名誉が得られるとき、「監督がもう1試合出してくれれば…」など、言わなかった。監督に指名されるような投球内容にできなかったことを反省し、次の年は、2桁勝利と2桁のホームランという偉業を達成した。自分が変わることによって、未来を開いています。

次回から7つの習慣について学びます。

(著者) 森岡勝彦さん
元大分大学の客員教授。現在は『日本宇宙少年団大分テクノ分団』分団長として地域の子供たちにサイエンス講座を開催。